

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会（第199回）」の開催

暦の上では春ですが、南国宮崎でも厳しい寒さが続いています。皆さん、お元気で過ごしてでしょうか。

さて、第199回の「語る会」では、中学校家庭科の大ベテランである甲斐みゆき先生が“家族の安全を考えた住空間の整え方”について実践された授業をご紹介します。楽しみです。今回は、久しぶりに、**対面とオンライン**の両方でハイブリッド開催します。遠方の方もどうぞお気軽にご参加下さい。

また、来月は**第200回**の「語る会」開催となります。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

●日 時 : 2025年2月15日(定例の第3土曜日) 午後2時から午後4時(参加費:無料)

●場 所 : 宮崎大学教育学部技術・家庭科棟 T211教室

Zoomでのご参加は、下記のアドレスに接続下さい↓

<https://us04web.zoom.us/j/83100456711?pwd=OE9EUUZ6Zkp4WFRldDZ4a25CT3IDQT09>

○ミーティング ID: 831 0045 6711 ○パスコード: &8q.XLci

●話 題 : 安全な住まい・安心な暮らし(家庭内事故への備え・幼児)

●話題提供者: 甲斐みゆき(小林中学校)

「家庭科の授業を語る会（第198回）」（2024年12月21日）の報告

○話 題 : 大切な物とお金 ～目的や状況に応じた買い物の工夫～

○話題提供者: 吉田 舞 (県派遣研究生・都城市立南小学校)

第198回の語る会では、吉田舞先生に全6時間の題材「大切な物とお金」について話題提供いただきました。また、3時間目についてはストップモーション方式で授業内容の検討を行いました。

指導計画では、P型シートを使用して「ほしい」時と「必要な」時について、物の買い方について考えることができるよう構成されていました。導入ではランドセルの使い方を入学時と現状を比較しながら振り返ったり、事前アンケートで児童がほしいものを調べておくなど、児童の実態に合わせた授業の工夫が多くありました。3時間目では“自分の目的や状況にあった商品の選び方や買い方を工夫することができる”ことを目標として、自分が使う時と家族にプレゼントする時の2つの場合において、児童が商品の選択を考えられるようになっていました。教師が設定した条件の中で、児童は自分の生活を振り返ったり、実物を観察することを通して、自分に合った選択を考える様子が見られました。また、教師が最後に違う条件を提示し、再度自分の選択について考えさせる工夫がされており、同じ商品の選択であっても児童が目的や状況に応じて選択の仕方が変わることを実感することができていました。

今回、授業を行う上で何を学ばせたいかを中心に、発問や教材を考えることの重要性を感じました。また、題材において本時がどのような位置付けになるのか、見通しをもって授業を構想する必要性についても考えました。私も実際に現場に出た際には、児童の実態に合わせたよりよい学びの場を構成できるよう、日々学びながら実践に取り組んでいきたいと思いました。

(文責: 宮寄)

連絡先: 家庭科の授業を語る会(事務局)

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美(大学院教育学研究科) : Tel/Fax 0985-58-7539(直通)

: メールアドレス e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp

大矢 英世(教育学部) : Tel/Fax 0985-58-7542(直通)

: メールアドレス hidevo@cc.miyazaki-u.ac.jp

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ: <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

●旧Twitter: fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために <https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi>